

視 現状の要約		
点	GOOD☺	BAD☹
定住	① マンション等建設による居住人口増加	① 幼年人口の減少 ② まちのにぎわいにつながない
空間	② 新図書館、(仮称)こども未来館といった大型施設が駅近くにオープンする ③ 駅西広場が再整備される ④ シンボルロードは拡幅整備され、電線類地中化が済んでいる	③ 歩いているときの密度感が薄い ④ 心象距離が長い ⑤ 居場所がない ⑥ 都市公園が少ない ⑦ 駐車場不足の懸念がある ⑧ イベント開催場所、電源供給、雨の対策がない ⑨ 駅前線歩道に歩く人が休憩できるようなスペースがない(花壇が邪魔)
資源	⑤ 小牧山を中心に中世から近世にかけてまちがつくられてきた歴史がある ⑥ 歴史的文化財がある ⑦ 小牧山(信長など)が注目を浴びている ⑧ 信長が4年間戦国時代の戦術的な拠点として小牧城を構えた	⑩ (歴史的)資源が面的につながない(ネットワーク化されて)いない ⑪ 空き家・空き店舗について貸す人借りる人の悩みを解決できる仕組みがない ⑫ 民地に行政は手が出せない
来街者	⑨ 小牧にぎわい隊が城見市を行っており、1000人~3000人の集客がある	⑬ 城見市に来たお客を近隣のお店に誘導できていない ⑭ 魅力がない ⑮ まち滞在率が低い(滞在時間が短い) ⑯ まちを周遊できる仕組みがない
情報	⑩ 小牧にぎわい隊がタウン情報誌の発行を行っている	⑰ 展開が一過性でSNSなどを活用した情報発信が不十分
商業	⑪ 店を借りたい人はいる	⑱ 休日にしまっている店が多い ⑲ 後継者がいない ⑳ 中心市街地の空洞化が進行 ㉑ 借りられる場所や店舗が見つからない ㉒ 一定の商業集積がない
ヒト	⑫ 参画意欲のある民間団体の取り組み	㉓ まちや将来に対して温度差がある ㉔ まとまって何かを行うのは難しい(この指とまれ方式) ㉕ まちの中に仕掛人がいない



議論		
	テーマ	キーワード
定住	○若年世代の定住促進(住みやすさ暮らしやすさ) ○マンションなどの立地促進【参考資料14】	若年世代 まちなか居住
空間	○小牧駅前広場のあり方【参考資料3】 ○小牧駅前線(シンボルロード)のあり方【参考資料4、17】 ○公園(みどり)の整備【参考資料5】 ○駐車場のあり方【参考資料6】 ○イベントスペースの確保【参考資料3、4、5】 ○現図書館跡地の活用【参考資料4】 ○柔軟な道路・広場の占用・使用【参考資料15】	心象距離 密度感 居場所
資源	○目的地(文化施設等)や飲食店・物販店のネットワーク化【参考資料8、9、11】 ○信長など歴史を活用した取組【参考資料7】 ○空き店舗・空き家・空き地の活用方法【参考資料12、14】	心象距離 魅力 歴史資源 文化財 信長
来街者	○交通結節機能の充実【参考資料6、10、17】 ○歩いて楽しいまちなか周遊 ○滞在時間の創出 ○近隣店舗や地域資源への誘導	滞在時間 周遊 魅力
情報	○効果的な情報発信の手法 ○情報発信の体制づくり(ネットワーク化)	SNS
商業	○起業のための環境整備 ○効果的な補助制度(インセンティブ)【参考資料16】 ○一定規模の商業集積【参考資料11】	商業振興 後継者
ヒト	○協働の体制づくり【参考資料12】	仕掛人 合意形成